

第1学年学級経営案

担任 竹中 尚美

学校教育目標

内外海に誇りを持ち、未来へ大きな志を持つ子

学級目標

あかるく、 つよいこころで

共に学び合い 志を持つ子

学習の基本

- ☆ 話を最後まで聞く態度を身につける。
- ☆ 自分の考えを持ち、最後まで話す。
- ☆ ひらがな、カタカナ、漢字80字を習得する。

挑戦する心

- ☆ 高い目標を持ち、あきらめず努力を続ける。
(国語教材文の暗唱、学期ごとに1つ 他)
- ☆ 読書年間100冊、学年必読図書20冊を達成する。

ふるさと学習

- ・ 地域や人から学ぶ体験をする。(生活科地域探検など)

たくましい心と体をつくる子

あきらめない心

- ・ 朝マラソン(2周以上)や木登り(青リボン達成)に精いっぱい取り組む。
- ☆ さかあがり、水泳、なわとびなどの目標を設定し、挑戦する。

責任感

- ☆ 時間いっぱいそうじに集中して取り組む。
- ・ 責任をもって係や当番の活動をする。

食

- ・ 給食を残さず食べる
- ・ 月1回の食事作りで食を大切にする気持ちを育てる。

めざす児童のイメージ

しっばいをおそれない子

あいさつやへんじのできる子

わかりあい、なかよくする子

せいいっぱいやれる子



仲間とつながり合う子

一人ひとりのちがいやよさを認め合う

- ☆ みんな遊びを通して集団の楽しさ、心地よさを感じ、仲間意識を持つ
- ・ 日々の学校生活の場面で、相手の身になって気持ちを考えられる。
- ・ 話し合い、みんなで取り組む活動(敬老会・お楽しみ会など)を通して協力することの大切さを学ぶ。

関わり合う力

- ☆ 気持ちのよいあいさつ、返事ができる。
- ・ すなおに「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。
- ・ 帰りの会で「よかった見つけ」をして友だちと共感する。
- ☆ みんなのために動く喜びを感じるとともに、自己有用感を持つ。



教師の姿勢

- 児童一人ひとりとの関わりを深め、人間関係を築く。
- 一人ひとりが持っている力を引き出し、活躍の場を設ける。
- 授業では、児童の考えを大切に、「待つ」ことを心がける。
- 粘り強く取り組ませ、成就感や成功体験を味わわせる。
- チャレンジし、精一杯取り組んだ過程をほめる。

家庭・地域との連携

- 基本的な生活習慣の育成
- 保護者の願い
- ふるさと学習(町探検)
- 学級通信「わくわく」